

道教委指定事業「学校力向上に関する総合実践事業」について

令和6年5月1日 南地区小中学校長

1 指定校

		役 割
中核校	南小	事業を中核となって推進
指定校	港小、南中	中核校の取組の汎用化・一般化を図る

2 事業の指定期間・・・令和5～6年度

3 事業内容＝事業の柱

【柱1】 ICTを活用した教育の充実

【柱2】 「北海道アクション・プラン(第3期)」を踏まえた働き方改革の実施

【柱1】 ICTを活用した教育の充実

	〈令和5年度到達指標で未達の事項〉	〈令和6年度到達指標〉
ステップ	端末を活用して、「教科の学びを深める」「教科の学びの本質に迫る」など、効果的に活用する段階	端末を活用して「教科の学びをつなぐ」「課題解決に生かす」など、児童に主体的に活用させる段階
児童	○ デジタル教科書の効果的な活用 ・授業での活用 ・家庭における自学自習での活用 ○ <u>ウェブ会議システムを活用した同世代の児童や他地域の方々との意見交換</u>	○ 学習活動の様々な場面において、端末を目的に応じて活用し、問題を解決 ○ 探究的な学習過程の徹底 「課題の設定⇒ 情報の収集⇒ 整理・分析⇒ まとめ・表現⇒ 振り返り・改善」 ○ Web 会議等を目的に応じて活用し、問題を解決 ○ 授業と連動した個別の課題を解決する家庭学習への移行
教職員		「活用の仕方を知る」段階から「実践」の段階への移行

【柱2】 働き方改革の推進

求められていること	○ Road 第5章に掲載されている取組のうち、取組可能なものを主体的に実施すること ○ ワークライフバランスや効率的かつ効果的な業務の進め方など働き方改革に対する教職員の意識を向上させること ○ 校長、事務職員、一般教諭との役割分担の見直しや業務の簡素化による教頭の負担軽減を図る「教頭の業務平準化・省力化を推進する取組」を実施すること
取組の具体	○ ウェブ会議を活用した会議や研修等 ○ クラウドを活用したデータ連携・データの分析（アンケート集計、保健管理 等） ○ クラウドを活用した各種資料の共有（会議資料、学習指導案や教材、実践事例） ○ クラウドを活用した保護者等との連絡（懇談会の日程集約 等）

4 指定地域内での取組(南小・港小・南中)

【ミッション】 ※ 求められていること

授業参観や協議等を通して、地域の学校が連携・協働して今日的な教育課題を解決する学校モデルの構築

【柱1】 小学校高学年における教科担任制の実施

【柱2】 学校事務の共同実施を通じた事務機能の強化

【柱1】 小学校高学年における教科担任制の実施

(1) 専科(理科)において ICT を活用した指導の充実

指定地域内の先導的な役割(指定地域全体における指導の充実を推進する役割)

(2) 加配教員のみならず、指導体制の工夫により学級担任間の授業交換などを実施

(3) クラウドを通して小学校間で児童の「多様な考え」に触れたり、情報を共有したりする取組の推進

(4) 中学校教員による授業の乗り入れ

(5) 成果の発信・普及 ⇒ 学校 HP や宗谷教育研修センターのクラウドを通じた発信

【柱2】 学校事務の共同実施を通じた事務機能の強化(学校間の連携)

(1) 関係者の学校事務観の統一(他の教職員と適切な業務の分担・連携の下、校務運営への主体的・積極的に参画できる環境の整備)

① 事務職員間での実践の具体に関する定期的な情報交換の実施(事務調整会議、年3回)

② 実践の蓄積及び自治体内での共有・汎用化

(2) 個々の学校事務職員に取組を委ねるのではなく、組織力を活用して事務の効率化及び信頼性・安定性の向上を図る。(自治体地域すべての学校力の向上を図る)

① 中学校区内での教材教具・備品の共同活用の仕組みづくり(各校での指導計画の調整)

② 学校事務に関する各種資料・様式の統一並びに事務の DX 化